

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8年 4月 29日

団体所在地 広島県山県郡北広島町志路原471

団体の名称 社会福祉法人泰平社

職・氏名 理事長 朝枝 泰善

(施設名 幼保連携型認定こども園ふたば)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)

- ・原っぱで山菜探しやカエル、カタツムリなどの生き物探し→観察
- ・よもぎを収穫し、よもぎ団子づくり
- ・裏山の斜面を駆け上がったり、滑ったりとダイナミックに遊ぶ。
- ・夏野菜の苗植え→観察→収穫
- ・園庭に咲いた藤の花や木の実を使っておままごと

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

- ・川遊び
- ・小川でウォータースライダー
- ・川で生き物探し(ミズカマキリ、オオサンショウウオ、サワガニなど)
- ・サンちゃんと友だちになる会
- ・夏野菜の収穫
- ・ブルーベリー狩り

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

- ・裏山遊び
- ・落ち葉やドングリ集め
- ・お散歩
- ・さつま芋掘り

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)

- ・雪遊び(かまくら作り、雪だるま作り、そり滑り、雪合戦)
- ・氷柱や水たまりにできた氷の観察
- ・人と樹の会(木の伐採を見学)
- ・椎茸の菌植え

活動報告（詳細）

【4月～6月】

（写真）



（エピソード記述）

- ・自分たちで収穫したよもぎを洗ってゆでて白玉粉を混ぜ、よもぎ団子を作る。
- ・よもぎ団子づくりに必要な道具を準備し、子どもの気づきに共感しながら、山菜のおいしさに気づけるようにする。
- ・手ざわりや香りを感じながら意欲的に取り組む。丸め方を工夫したり友だちとやり方を伝え合う姿が見られ、試行錯誤しながら作る楽しさを味わっていた。

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

- ・小川でのウォータースライダーに興味を持ち、流れや水の感触を確かめながら繰り返し挑戦する。
- ・安全に遊べる場所を選び、子どもたちがやってみて感じたことやもっとこうしたらと考えたことを受け止め、次につながるようにする。
- ・姿勢や場所を工夫し、友だちと伝え合いながら遊びを広げる姿が見られ、主体的に試行錯誤する力や関わりの深まりが感じられた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・自分たちで植えたさつまいもを収穫をする。
- ・「どこにあるかな」「まだまだつながってる！」など子どもの発見を大切にし、友だちと協力する環境や探求心が育つようにする。
- ・見つけた喜びを友だちと共有し大きさや形の違いに気づく姿が見られ、自然や食への関心を深めている。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・2月の雪の中で裏山の木の伐採を見学し、その時切り出した小樽の木を椎茸の原木に加工する様子を見学し、原木に椎茸の菌を打ち込む。
- ・金槌の使い方を注意して見守り、「どうやってできるんかね」「どうやって菌が入るとるん？」など子どもの疑問を大切に一緒に考え、期待を持てるようにする。
- ・金槌の使い方を教えてもらい、初めは優しくトントンと打ち込むがなかなか入らず、強めに打ち込む。だんだんやり方がわかり、どんどん打ち込んでいく。育つまでの過程に関心を寄せ、「まだかな」「たのしみ」と継続して観察する姿が見られ、自然や食への興味・関心に繋がっていく。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
保育者等安全管理研修を担当保育教諭が受講
- ・ 地域との関わりについて
- ・ 原東大花田植えに参加
- ・ 地元で育てられているブルーベリーを収穫
- ・ 人と樹の会のみなさんとの交流
- ・ 保護者との関わりについて
- ・ サンちゃんと友だちになる会で親子で川に入る。
- ・ 収穫したさつま芋を使って祖父母と一緒に豚汁づくり
- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--